

報恩寺だより

No. 51

2020年5月1日発行
おたすけ観音 報恩寺
綾瀬市寺尾南2-10-1
電話 0467-78-7160
FAX 0467-79-1567

だい はん にゃ き とう え

大般若祈祷会の参拝中止について

本年度の大般若祈祷会は、感染症流行の社会状況から、一般の参拝は中止とし、数名の僧侶と総代にて勤めさせていただきます。

疫病消滅を祈願し、家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈祷いたしましたお札と、お守りを送らせていただきます。

Facebookにてライブ中継を予定しています。詳しくは「おたすけ観音 報恩寺」のホームページ、または「おたすけ観音報恩寺のFacebook」をご覧ください。

記

大般若祈祷会 令和 **3**年 **5**月 **17**日(月) 午後**2**時

報恩寺徒弟

加藤 太樹 (呼名 明陽)

大本山永平寺 上山 報告

令和3年3月17日に 報恩寺徒弟 加藤太樹(呼名 明陽)が、大本山永平寺に上山しました。

報恩寺出発前に仏祖諷経を勤め、道中安全、修道無難、修行成就を祈願いたしました。

報恩寺を出発し、上山までの様子をYouTubeに限定公開しています。

報恩寺ホームページから見ていただくか、右のQRコードを読み取りご覧ください。



特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

令和2年	5月	まごの手	様
令和2年	6月	早川 主税	様
令和2年	7月	橘川 英希	様
令和2年	11月	早川 ヒサエ	様
令和2年	11月	戸井田 国輝	様
令和2年	12月	早川 忠明	様
令和3年	2月	早川 敏巳	様
令和3年	2月	橘川 一枝	様

座禅会

毎月第1日曜日 朝6時より
毎月第1日曜日の前日 土曜日 午後3時より

どなたでも参加できます。動きやすい服装でおいで下さい。

◆ 報恩寺年間行事予定 ◆

	4月	8日	花祭り
	5月	17日	大般若
	8月	7日	大施餓鬼会
	12月	8日	成道会
	12月	31日	除夜の鐘
令和3年	1月	1日	お年始詣り
	2月	15日	涅槃会
	3月		彼岸会法要

おたすけ観音石仏奉納報告

昨年、5月より奉納をお願い致しました「おたすけ観音石仏」ですが令和3年3月現在、34体奉納されました。観音石像を奉納されました方には、写真と3Dモデルを差し上げています。写真は2Lサイズでアクリルスタンドにいったもので、3Dモデルは、スマホの3Dスキャン(顔認証システム)を利用し、パソコンで修正編集し3Dプリンターで出力したものです。



スキャンしたデータをパソコンで修正し、3Dプリンターで印刷できるように調整します。



現在、山内にお観音様をお祀りするための散策路を整備しています。

▲山内を整備し散策路を作っています。木杭と竹で柵を設置中です。散策路の周りには、花桃・アジサイを植栽しています。お観音様巡りをしながら花々を楽しめるようにしていく予定です。

◀境内西側のブロック塀を竹垣風にしました。今までより明るく開放的な雰囲気になりました。

まちたんけん



寺尾小学校2年生の皆さまが「まちたんけん」で報恩寺にやってきました。

今回は事前に質問事項を教えてもらっていたので、答えは本堂のモニターを使って映像を交えながらお答えしました。いろいろな質問がありましたが、その一部をご紹介します。

他にも興味深い質問が沢山ありました。詳しくは報恩寺ホームページで見ることが出来ます。



問一 報恩寺はいつできたか。また、どうしてできたか。

できた当時の綾瀬市や人々の様子も知りたい。

答え 報恩寺は、慶長7年（1602）8月28日、曹洞宗の寺院として開山されました。

おしゃかさまの教えをひろめ、みんなを幸せにするためにできました。出来た当時の人々は、みんな仲良く、しあわせにくらしていましたとさ。



この図はお寺が出来た当時のものです。（早川・長泉寺）

問二 どうして仏像がたくさんあるのか。またいくつあるのか。実物も見たい。

答え 仏像にはそれぞれの役割があり、皆さんが願いの数だけ仏さまがいらっしゃいます。

皆さんの正面にいらっしゃる仏さまをご紹介します。

2 普賢菩薩さまは思いやりの仏さまです。



1 お釈迦様は一番大切な仏さまです。



3 文殊菩薩さまは智慧の仏さまです。



4 大権修利菩薩さまはお寺をまもってくださる仏さまです。



5 達磨大師は座禅の教えを伝えたと坊さんです。



問三 なんのためにお線香をたくのか。

答え お線香は、私たちのご供養の心をかぐわしい香りとともに仏さまに届けてくれます。

問四 お寺と神社の違いは何か。

答え 簡単にいうと、お寺は仏教、神社は神道という異なる宗教の施設です。

見た目の違いとしては、仏像やお墓のある所がお寺で、鳥居のあるのが神社といえるでしょう。

問五 服装や髪形について聞きたい。

答え 髪型は毎日髷と一緒に剃っています。髪の毛を剃るのは、髪の毛は煩悩の現れだからです。間違ったことや、悪い行いをしないようにするためです。

問六 どうして和尚さんになったのか。

答え おしゃかさまや、どうげんぜんじの素晴らしい教えを学び、みんなを幸せにしたいと思ったからです。

1 赤い衣と金びかのお袈裟
禅師さんから許された色
大きな法要の時、導師が着る
赤↓黄色↓むらさき



2 黒い衣とオレンジ色のお袈裟
座禅や修行をするときに着る
本山の法要など正式な法要の時に着る
ことが定められている



3 改良服
移動するときやお客さまと会う時などに着る



4 作務衣
お掃除をするときなどに着る普段着
う時などに着る



今回の「まちたんけん」は10年ぶりぐらいだったと思います。

よかったのは事前に質問が知らされていたことです。子どもたちの自由な発想に柔軟に対応できること、歴史や由緒について

ても余裕をもって準備できるところがよかったです。

「どうして和尚さんになったのか」という質問は、おそらく事前に知らされていなかったら「お寺に生まれ、お観音様のご縁によってお坊さんになりました」

た」というような答えをしていたと思いますが、答えの準備をしているうちに、お寺とは何をするところなのか、お坊さんの仕事とは何かということを小学2年生にわかりやすく、簡単に伝えるために考えた答えが「おしゃかさまや、どうげんぜんじの素晴らしい教えを学び、みんなを幸せにしたいと思ったからです。」でした。

もしかしてこれは自分自身への答えなのではと感じ、還暦を過ぎ生まれ変わった私は心を入れ替え、お寺に生まれ何となくではなく、自分の意志でこの道を選び進んで行こうと決意させていただきました。

寺尾小学校2年生の皆さんと先生に感謝申し上げます。
「まちたんけん」ありがとうございました。

